

令和8年度上越地域米 緊急稲作情報（9月9日）

上越農業普及指導センター

降雨が続き、収穫が困難な状況が続いています。
倒伏程度や穂発芽性を考慮して早めに収穫するとともに、
倒伏ほ場から収穫した粳は丁寧に乾燥調製しましょう！

1 今後の気象 【北陸地方1か月予報（9/5-10/4）、新潟地方気象台発表】

気温の高い状態が続き、活動の活発な秋雨前線の影響を受けやすいため降水量は多くなる見込みです。

2 今後の管理

（1）収穫作業

- 暗渠栓を開放するとともに、溝が埋まっていたら水尻につなげるなどして排水を促進しましょう。
- 倒伏したほ場や穂発芽しやすい品種（もち米、酒米等）は晴れ間を見て早めに収穫しましょう。
- やむを得ず高水分で収穫する場合は、作業速度を低下させたり、刈取条数を減らすことで穀粒流量を少なくして、選別不良や汚損粒発生を防ぎましょう。
- コンバインに詰まった稲わら等を取り除くときは、巻き込まれ事故防止のためエンジンを止めて作業しましょう。

（2）倒伏ほ場から収穫した粳の乾燥調製

- 倒伏が大きいほ場で収穫した粳は、くず米の混入割合が高く、粳水分のばらつきが大きくなります。
- くず米混入が多い高水分の粳を乾燥する場合は、水分18～20%で一旦乾燥を停止し、通風循環で穀温を冷ましてから半日程度貯留して水分ムラを解消し、再乾燥を行いましょう。
- 粳すりは粳の温度が常温近くまで下がってから行い、脱ぶ率が80～85%になるように調節しましょう。
- 未熟粒や被害粒が多い場合は、必要に応じて1.90mmのふるい目や色彩選別機を活用し、確実に1等米に仕上げましょう。

※農作業中はこまめな休息や水分補給等の熱中症対策をしましょう。